

事業所名		放課後等デイサービス つばめ				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		1 日	
法人（事業所）理念		放課後等デイサービスつばめでは、遊び・学び・関わりを通して、高学年に向けて地域の友達と遊ぶ力を身につける事を目標にしています。													
支援方針		つばめでは、同年代での遊びや様々な活動や経験を通して、コミュニケーション力を身につけ伸ばす事を第一の目標にしています。 また、地域や社会生活で本人の困りごとや生きづらさを本人・ご家族と一緒に考え、本人の課題に対処する支援方法を提案・実践します。 放課後など家以外に帰れる場所を提供します。													
営業時間		10 時 から 19 時 まで				送迎実施の有無		あり							
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握を行い、生活のリズムや生活習慣（宿題の習慣化・身だしなみ・整理整頓）を形成する。 ・特性や困り事を理解し、生活環境の調整や気持ちの切り替えなどの自己の行動や感情を調節していくための支援を行う。 ・調理レクを通して、食育や生活スキル（道具の使い方など）を高められるようにする。													
	運動・感覚	・運動遊びやトランポリン、ダンス、ゲームなどの活動を通して、姿勢の向上や運動や動作の向上を支援する。 ・個々の感覚の状態とその活用の仕方を把握した上で、保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚を活動を通じて十分に活用できるよう支援する。 ・視覚、聴覚、触覚などの保有するいろいろな感覚を活用して、情報を収集したり、環境の状況を把握したりし、的確な判断や行動ができるよう支援する。													
	認知・行動	・集団活動や遊びを通して適切な行動を習得できるように支援する。 ・一人一人の感覚や認知の特性を理解し、自分に入ってくる情報を適切に処理できる様にするとともに、特に自己の感覚の過敏さや認知の偏りなどの特性について理解し適切に対応できるように支援する。 ・認知や行動の手がかりとなる概念の形成、物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間などの概念の形成を図る。													
	言語 コミュニケーション	・自分の思いや要求の伝え方など、場面や相手の状況に応じた適切なやり取りを促す。 ・コミュニケーションを通して、事物や現象、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語を身に付けることができるよう支援する。 ・言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振りをを用いて意思のやりとりが行えるようにするなどコミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けることができるよう支援する。													
	人間関係 社会性	・信頼関係を構築し、他者からの働き掛けを受け止め、それに応ずることができるように支援する。 ・他の意図や感情を理解し、場に応じた適切な行動をとることができるように支援する。 ・自分の行動の特徴などを理解し、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるように支援する。 ・遊びや集団活動などに積極的に参加できるように支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、友達づくりにつながるよう支援する。 ・自身の感情が崩れたり、不安になった際に自分の感情に折り合いをつけたりできるよう「安心の基地」の役割を果たせるよう支援する。													
家族支援		・モニタリングや面談を行い、様子の共有や課題の見直しを行う。 ・発達状況や特性に向けた相談支援 ・日々の様子や取り組みを共有				移行支援		・進路先や移行先への相談援助や情報共有 ・併用先や学校との情報共有や支援内容の擦り合わせ							
地域支援・地域連携		・学校、併用事業所との調整や支援方法についての共有 ・相談支援事業所との連携				職員の質の向上		・外部研修 ・施設内研修 ・虐待防止・身体拘束適正化委員会の実施 ・リスクマネジメント委員会の実施							
主な行事等		・季節行事（お花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス等）・おやつレク、昼食レクの実施（週1回）													